



# 超速硬化ウレタンゴム系塗膜防水材の 指触乾燥時間

**JWMA - U01 : 2023<sup>00</sup>**

2023年2月2日制定

一般社団法人 日本防水材料協会

ウレタン塗膜防水部会

# 目次

	ページ
1. 適用範囲	1
2. 引用規格	1
3. 種類	1
4. 品質	1
5. 試験	1
5.1 試験の一般条件	1
5.2 試験機器	2
5.3 試験方法	3
6. 報告	4

## 超速硬化ウレタンゴム系塗膜防水材の指触乾燥時間

### 1. 適用範囲

この規格は、ウレタンゴム系塗膜防水工法に用いる超速硬化ウレタンゴム系塗膜防水材について規定する。

### 2. 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の要求事項を構成している。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

**JIS A 6021** 建築用塗膜防水材

**JIS K 5600-1-1** 塗料一般試験方法—第1部：通則—第1節：試験一般（条件および方法）

### 3. 種類

**JIS A 6021**（建築用塗膜防水材）の屋根用のウレタンゴム系高伸長形または高強度形の2成分形とする。

### 4. 品質

品質は、5. によって試験を行い、表1の規定に適合しなければならない。

表1 超速硬化ウレタンゴム系塗膜防水材の品質

試験項目	規定
指触乾燥時間（23℃）	60秒以内

注）指触乾燥：塗面の中央を指先で軽く触れて、指先が汚れない状態

（JIS K 5600-1-1）

### 5. 試験

試験方法は、JIS K 5600-1-1に準拠する。

#### 5.1 試験の一般条件

環境条件は、温度は23℃±2℃、相対湿度は（50±10）%とする。

試験に用いる材料及び機器は、試験前に24時間以上試験の環境条件に静置しなければならない。

## 5.2 試験機器

試験機器は、表 2 による。試験機器の例を写真 1 に示す。

表 2 試験機器

機器	機器の例
2液カートリッジシステム (50ml タイプ, 容量比=1 : 1)	MIXPAC50 (50cc タイプ)
スタティック・ミキサー (エレメント数 : 17)	MAH06-17 (6.3mm 径 17 エレメント)
ハンディガン (50ml タイプ 2液カートリッジ システムに適合するもの)	MIXPAC DMA50 型

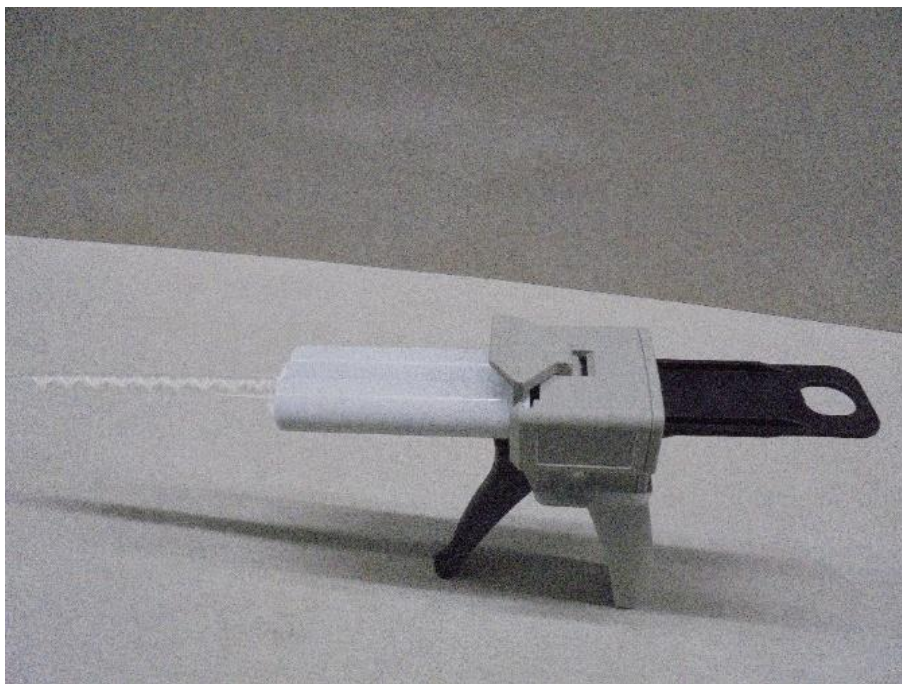
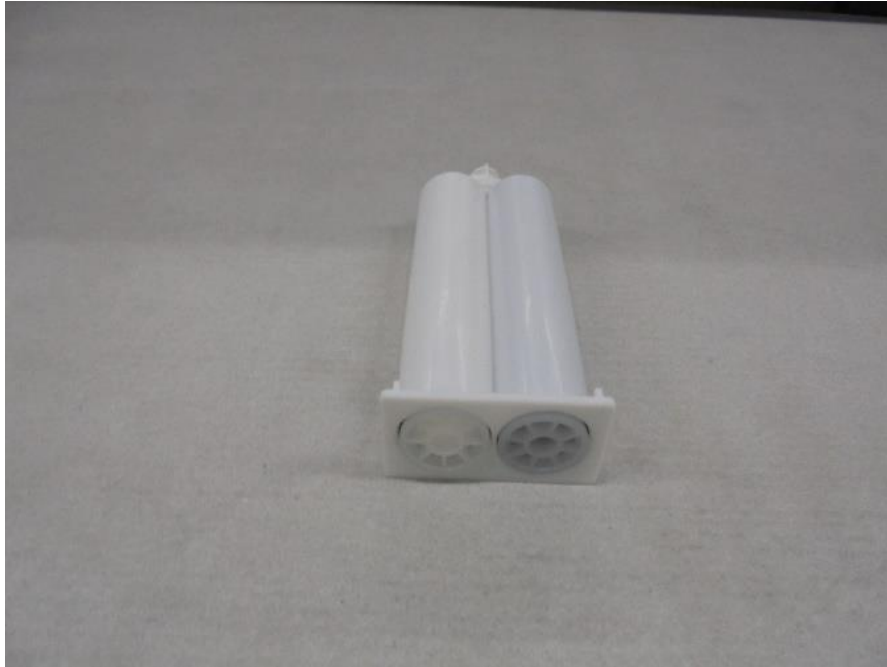


写真 1 MIXPAC50+MAH06-17

### 5.3 試験方法

#### 1) カートリッジへの主剤および硬化剤の充填 (写真2)

写真2



#### 2) ハンディガンによる吐出 (写真3)

トリガーを約1秒に1回の間隔で3回引く (全量吐出の必要なし)。  
スタート時はスタティック・ミキサー内が空のため、3回引く。



写真3

### 3) 指触乾燥測定 (写真4)

3回目の吐出後、15秒間隔で60秒まで、3回目の吐出部分を指触により指先の汚れを確認する。指先が汚れない状態になった時間(秒)を記録する。

1)~3)を2回行い、大きい(長い)方を指触乾燥時間とする。

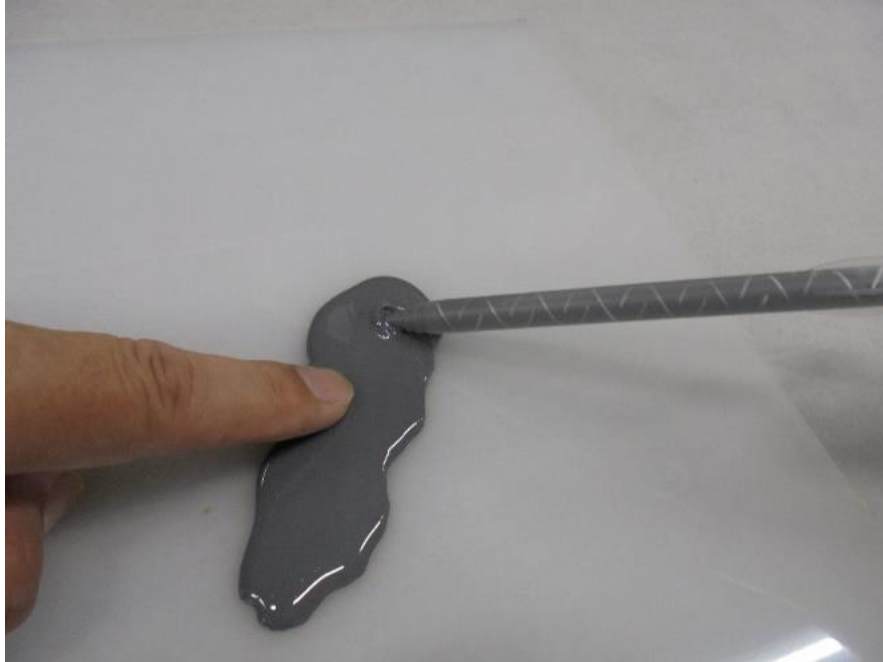


写真4

### 4) 指触乾燥時間の表示方法

- 15秒で乾燥(硬化)していた場合: 1~15秒
- 30秒で乾燥(硬化)していた場合: 16~30秒
- 45秒で乾燥(硬化)していた場合: 31~45秒
- 60秒で乾燥(硬化)していた場合: 46~60秒
- 60秒で乾燥(硬化)していない場合: 61秒以上

## 6. 報告

報告は必要に応じて、次の事項を記入する。

- (1) 試験した材料の種類および製造所名
- (2) 試験体の状態調整の温度、湿度および時間
- (3) 試験室の温度および湿度
- (4) 試験した材料の数
- (5) 試験結果: 指触乾燥時間(秒)
- (6) 試験年月日
- (7) その他必要と思われる事項